

第2回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

平成 30 年9月20日(木) 開催



今年度 2 回目の協議会が開催されました。今年 4 月から始動した認知症初期集中支援チームの活動報告や認知症徘徊高齢者を地域で支える仕組みづくり、在宅医療後方支援体制の構築について話し合われました。

協議会資料および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

●● 協議会トピックス その1 ●●

「認知症初期集中支援チーム」の活動報告

認知症サポート医 1 名、保健師 1 名、社会福祉士 1 名で構成され、認知症が疑われるが医療や介護サービスにつながっていない方等への支援をしています。これまでに 4 名の方に対応し、内容について報告しました。

委員からは、認知症についての相談窓口である「地域包括支援センター」の周知強化についての提案を頂きました。

●● 協議会トピックス その2 ●●

「在宅医療の後方支援体制の構築」に向けて

前回の協議会后に市内 3 病院の院長と当協議会会長による話し合いが行われ、在宅医療の後方支援体制の構築に向けて、3 病院の協力が得られることになったことの報告をしました。

今後は、各病院の担当者も交えながら実際の運用に向けて、話し合いを継続していく予定です。

在宅医療・介護連携や認知症対策に具体的に取り組む課題別ワーキング(WG)の取り組み報告

在宅医療・ 救急医療連携 WG

「救急医療情報キット」の普及対策として、ポスターの作成や動画撮影を行いました。動画は、病院や地域包括支援センター等が主催する住民向け講座にて活用していく予定です。近日中に、市ホームページにも公開予定。

多職種連携 研修企画 WG

研修企画の検討をしています。第 1 回研修が、認知症介護への理解を深めることを目的に介護経験者を講師に招き、9 月 28 日に開催しました。

市民啓発 WG

在宅医療、在宅看取り、人生の最終段階の過ごし方について、市民への啓発のあり方の検討をしています。12 月に市民向けフォーラムを開催予定。

入退院時連携 WG

市内 3 病院の医療ソーシャルワーカーに参加してもらい、入退院時における病院と地域の連携の課題把握と対応策について話し合っています。

認知症対策 WG

認知症本人への支援と家族への支援について、グループに分かれて検討しています。本人への理解を深めるための 4 コマ漫画を作成しました。